

令和3年8月24日

市民文教委員会

創造都市・文化振興課

サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2021 について

1 趣旨

「音と創る コミュニケーションのカタチ」をテーマに、『サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2021』を開催し、音に関する体験を通して、新たな発見や気づきを得ることにより、浜松市内の創造的人材の発掘・育成・交流を活性化させ、誰もが創造的な音創りを楽しめる国内唯一のまち「サウンドデザインシティはままつ」を発信し、「創造都市・浜松」を推進する。

2 「サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2021」の概要

- (1) 日時：令和3年12月11日（土）、12日（日） 各日 10：00～17：00
- (2) 場所：（メイン会場）アクトシティ展示イベントホール
（サテライト会場）浜松科学館／浜松市楽器博物館
- (3) 対象：一般（家族層・若年層の誘客を重視）、学生
- (4) 主催：はままつ響きの創造プロジェクト実行委員会/浜松市
（構成）浜松市文化振興財団、静岡文化芸術大学、浜松・浜名湖ツーリズムビューロー、
浜松商工会議所、浜松地域イノベーション推進機構、浜松国際交流協会、浜松市
- (5) コンセプト
 - ①誰もが音創りを楽しめる場の創出
 - ②リアルとリモートの共存（デュアルモード）
 - ③距離や空間を越えた創造的な音との出会い
 - ④創造的人材の発掘・育成・交流

3 事業費

46,976 千円

4 その他

今後のスケジュール

- ・10月 広報開始
- ・11月 プレイイベント実施
- ・12月 本番開催（11、12日）

5 「サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2021」 主要コンテンツ

(1) 多彩なイベント

イオン浜松市野店・イオン浜松志都呂店の店舗内イベントスペースでのワークショップ、楽器メーカーへのツアーを実施。

(2) メインとサテライトをつなぐ周遊企画

アクトシティ展示イベントホール（メイン）、浜松科学館みらい〜ら（サテライト）、浜松市楽器博物館（サテライト）をつなぐ周遊企画を実施。サテライト会場でもワークショップ、演奏会等を実施。



(3) オンライン配信併用のステージイベント

明和電機、和田永、山口とも、地元アーティスト等によるライブパフォーマンス、楽器メーカーによる技術紹介、伝説的なリズムシンセサイザーマシン「TR-808」の開発者によるトークショー等を実施。



(4) 音創り・ものづくりを体感するワークショップ（一部オンライン配信）

地域内外のアーティスト、楽器メーカーによるおもしろ楽器、廃品を使った楽器づくりや音を体感するワークショップを多数開催。



(5) 新たな音の可能性を感じる作品展示

地域内外のアーティストによる「音」にまつわる作品展示、楽器メーカーによる楽器、楽器関連商品・作品の展示



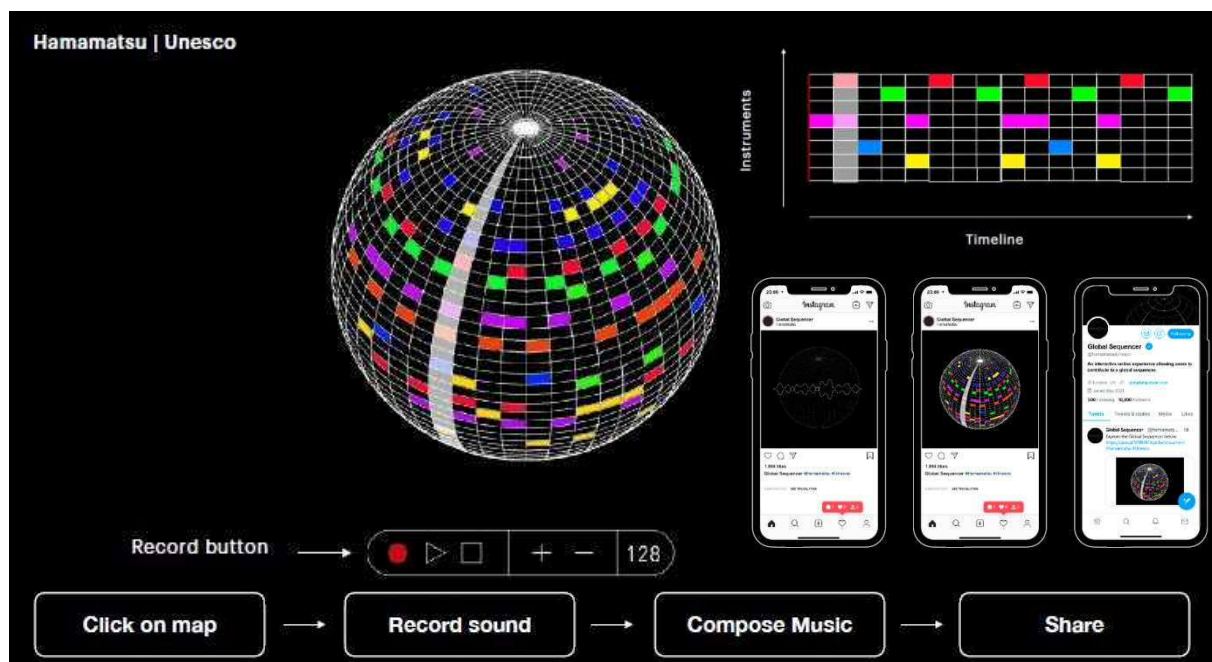
(☆) 音で世界の人々をつなぐ特別企画

世界的なデザイナー集団である「ペンタグラム」に唯一日本人で所属するスズキユウリ氏（2017年のフェスティバルに続いての参加）による『Global Sequencer（仮）』

【特長】

- ・世界中の誰もがオンライン上に様々な音を投稿できる。
- ・国籍、性別年齢に関係なく誰でも、投稿された音をつないで音楽を作ることができる。
- ・プロもアマも関係なく作った音楽をSNSでシェア（発表）できる。

【作品イメージ】



※ユネスコ創造都市ネットワークを通じて、『創造都市が実施した文化を活用した革新的なコロナパンデミックへの対応』として本企画を加盟都市（現在 246 都市（内、音楽分野は 47 都市））に発信し、連携事業として展開。

『サウンドデザイン』事業のこれまでの取り組み

<p>2016年(H28)</p>	<p>『サウンドデザインシンポジウム in 浜松 2016(12/16)』 ー音と人との新たな関係を創造する 会 場：アクトシティ浜松コンgresセンター 来場者：154人</p> <p>①サウンドデザインの世界潮流、②サウンドデザインシティを目指して、③サウンドデザインシティ浜松への提言の3部制でそれぞれデザイナー、大学教授、研究者、楽器メーカー関係者により、2014年12月ユネスコ創造都市ネットワーク(UCCN)音楽分野に加盟後に目指すサウンドデザインシティの形について議論した。</p>
<p>2017年(H29)</p>	<p>『サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2017(12/9-10)』 ーWhat is SOUND DESIGN? 「サウンドデザインって何?」 会 場：アクト展示イベントホール 来場者：5,332人</p> <p>一般には聞きなれない「サウンドデザイン」に抱く疑問に対し、好奇心を持って探ってもらうことを意図。音に関する国内外の先進的な製品・アート作品・楽器を含んだ全64点の展示、アーティストによるステージプログラム、ワークショップを通し、多角的な視点でサウンドデザインの世界を来場者は体験した。</p>
<p>2019年(H31)</p>	<p>『音が都市を創る(1/31)』 ーサウンドデザインが未来を拓くー 会 場：アクトシティ浜松コンgresセンター 来場者：155人(CCNJ86人・一般69人)</p> <p>創造都市ネットワーク日本(CCNJ)の年次総会とともにシンポジウムを開催。創造的な視点やこれまでにない手法で音の力を社会に応用する「サウンドデザイン」の取組を題材に、創造都市に期待されている新たなチャレンジと、そこから広がる都市の未来の可能性について議論した。</p> <p>『サウンドデザインファクトリー in 浜松 2019(12/7-8)』 ー音が生まれるファクトリー(工場) 会 場：鴨江アートセンター 来場者：1,209人</p> <p>市民の文化芸術活動の拠点である鴨江アートセンターで、サウンドデザインに関する体験型プロダクトの展示、ワークショップやパフォーマンス、トークセッションやミートアップを行い、音の可能性をアウトプットする場を創出することで、音に関する地域の創造的人材の「発掘」「育成」「交流」を目指した。</p>
<p>2020年(R2)</p>	<p>『サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2020』開催中止</p>
<p>2021年(R3)</p>	<p>『サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2021(12/11-12)』 ー音と創る コミュニケーションのカタチー 会 場：アクト展示イベントホール/楽器博物館/浜松科学館 来場者：(目標)10,000人(オンライン含む)</p>